



名古屋部会(第 3 回)

日 時：	2015 年 10 月 17 日 (土) 15:00 ～ 17:00
場 所：	椋山女学園大学星が丘キャンパス (名古屋市千種区)
参加者：	中学校・高等学校・大学の先生方など 13 名が参加した。

【内容要旨】

椋山女学園大学星が丘キャンパスの教室を水野先生の手配により会場としてお借りし、第 3 回の名古屋部会を開催した。

第 3 回の名古屋部会は高校入試での経済分野の出題の傾向や授業で経済教育の教材の紹介を目的に開催した。最初に、経済教育ネットワークの活動について野間敏克氏 (同志社大学政策学部教授) よりご紹介頂いた。

その後、兼間昌智氏 (札幌市立常盤中学校教頭) より「入試問題を授業で活かすポイントはこれだ！」をテーマに全国の高校入試における経済分野の扱いについてお話頂いた。経済分野の出題が増えていることや、地理等でも経済に関する出題が行われていること、出題の傾向としては考えさえる問題であることをご説明頂いた。

続いて、新井明氏 (上智大学非常勤講師) より「教材開発と部会活動」をテーマに経済教育のための教材の紹介と経済教育ネットワークの各部会の活動についてお話頂いた。塙枝里子氏 (東京都立府中東高等学校) による「時間の経済学」に関する教材と新井氏による「三匹の子豚から機会費用を考える」教材をご紹介頂き、名古屋部会においては製造業が盛んな地域であることからそれを利用した教材開発とそれを全国へ広げていくように経済教育ネットワークで紹介して頂きたいとご提案頂いた。

両氏のお話を踏まえて参加者との活発な質疑応答を行った。

最後に、三枝利多氏 (東京都目黒区立東山中学校教諭) より「経済と法の授業ー私たちが暮らす社会のしくみとは？<社会保障>ー」をテーマに法と経済に関する教育についてご紹介頂いた。

次回については12月に開催することとした。



兼間昌智氏 (札幌市立常盤中学校教頭)



新井明氏 (上智大学非常勤講師)



三枝利多氏（東京都目黒区立東山中学校教諭）



ディスカッションの様子

撮影と文責： 水野 英雄

次回開催予定： 12月頃に、場所は金城学院大学サテライトか相山女学園大学星が丘キャンパス（名古屋市）。議題は、教材の紹介や経済教育の進め方に関するディスカッションほか。